

まちかど アルバム



舞台芸術「狂言」に挑戦

八坂

9月6日（火）、倉田小学校の子どもたちが、三宅狂言会くわいごらの協力により、日本が誇る舞台芸術「狂言」を体験しました。「草」という演目では、児童12人、教員1人が自作の笠とお面を身に付けて演技に挑戦。夏休み中の練習で身に付けたユニークな動きを披露し、来場者を笑わせていました。舞台を終えた子どもたちは「難しかったけど楽しかった」、「最後まで集中できた」と興奮冷めやらぬ様子で語り、他ではできない貴重な体験に大満足の様子でした。

びわの葉の染液で素敵なスカーフが完成

青谷町亀尻

青谷町絹見地区の特産物「びわ」を活用した、「びわで生き生き講座」が、中郷地区公民館で開かれています。8月26日（金）には、びわの染液を使って草木染を行いました。この日は、気高町にある草木染工房ローサうすからしゆんこの上村順子さんの指導を受け、びわの染液に浸染用アルミもくさくさんてつ、木酢酸鉄を入れ、白い絹のスカーフはびわ色やココア色に。参加者は、微妙に変化する色のコントラストや、思い思いの色に染めあがったスカーフに大満足でした。



さわやかな歌声、サマーコンサート

用瀬町別府

8月28日（日）、流しびなの館でサマーコンサートが行われ、約150人が参加しました。コンサートは、用瀬町や佐治町のコーラスグループが中心となって企画し、今年で2回目。地元サークルのフラダンスがオープニングを華やかに飾った後、会場は地元コーラスのさわやかな歌声やジャズ、ロックなどさまざまなジャンルの演奏で盛り上がりました。ホール横には喫茶コーナーが設けられ、ホールから流れる音楽を聴きながらくつろぐ参加者もありました。



地元自慢の味を満喫

河原町谷一木

9月9日（金）、河原城イベント広場で、地産地消イベント「鮎と里のいも煮」が開催されました。このイベントは8月26日から9月16日までの毎週金・土曜日に行われたもので、この日は約100人が参加しました。参加者は、河原町名物の天然鮎と、河原町内で採れた里芋・人参・こんにゃくなどが入ったいもたき鍋に舌鼓。毎年楽しみにしている人もあり、ライトアップされた河原城の下、初秋の風を感じながらの楽しいひと時となりました。





第7回鳥取市西部地域交流駅伝大会

気高町～鹿野町

こわしがわ

8月28日(日)、気高町逢坂地区・鹿野町小鷲河地区を舞台に「第7回鳥取市西部地域交流駅伝大会」が開催されました。今年は6区間15.8kmのコースを舞台に、地区対抗の部7チーム、各種団体の部18チーム、中学生の部2チームの合計27チームが参加。それぞれが、この日のために鍛え上げた健脚を競いました。残暑が厳しい中、選手たちは苦しい表情を浮かべながらも、沿道からの声援に応じて一生懸命タスキをつないでいました。

エアプランツ壁掛けづくりでスキルアップ

国府町庁

9月10日(土)、国府町中央公民館で、空気中の水分を葉や茎から吸収して生きている植物を使った「エアプランツ壁掛けづくり」が行われました。この日は、井口勇講師いくちゆうの指導のもと、エアプランツや流木などを使い、まささらな額の中に独創的なアレンジメントを作りました。最初は戸惑っていた受講生たちも、作り始めると次第に様々なアイデアが浮かび、1時間ほどで個性豊かな作品が完成。みなさんが仕上がった作品に大変満足そうでした。



災害への特効薬は日ごろの訓練

田園町四丁目

9月9日(金)に行われた「第34回鳥取市総合防災訓練」。訓練には、各地域の町内会や小学生、防災機関など、約4000人が参加しました。このうち、約850人が集まった城北小学校では、自衛隊による倒壊家屋からの救出訓練、飲料水やガスなどの応急復旧訓練などを実施。いざという時に対応できるよう、真剣な表情で自身の動きを確認しました。参加者は、熱心に訓練の様子を観察したり、応急復旧設備を体験したりして防災の意識を高めていました。



まだまだ やります！元気です！

佐治町加茂

8月23日(火)、佐治町老人スポーツ大会がB&G海洋センター体育館で開催されました。残暑の厳しい中、130人の参加者が、パン食い競争や玉入れなど計7種目で競い合い、年齢を感じさせない躍動感あふれる動きを見せていました。中でも、競争中にじゃんけんを取り入れた「関所やぶり」では、なかなか勝てず苦戦する人もあり、大いに盛り上がりました。「面白かった。来年もぜひ参加したい」と、早くも来年の参加を楽しみにする人もいました。



陰陽ダービー場外戦

蔵田

9月10日(土)、とりぎんバードスタジアムのバックスタンド裏で、鳥取と岡山のマスコットが集合し、じゃんけん大会が行われました。これは、「陰陽ダービー」と銘打った、ガイナレ鳥取とファジアーノ岡山の試合に先立ち、応援に駆けつけたサポーターを盛り上げるための企画です。じゃんけんに勝利し、景品を受け取った岡山の小学一年生、宇高稜太くんうだかりょうたは、「勝って嬉しい。チームも勝つと思う」と、勝利の喜びと間もなく始まる試合への思いを語ってくれました。

